

国際交流員による国際理解講座 事業報告

フランス理解講座 「月の港ボルドー」



国際交流員を講師として母国の歴史や文化、生活様式などを紹介する講座を府民向けに開催することで、国際交流員と府民との交流機会を増やし、府民の国際理解を促進させる。今回、国際交流員の出身地を紹介し、府民の国際理解とフランスに関する知識を深める。

日時： 2011年11月7日、14日（月） 14:00～16:00

内容：

第1回目「ボルドーの歴史と世界遺産」：ボルドーの人口、位置、産業などを簡単に紹介し、ボルドーの歴史と世界遺産について説明しました。

第2回目「伝統的なボルドー」：プレゼンテーションとビデオを通して、ボルドーのイベント、祭り、名物、伝統芸術と習慣等を紹介しました。

会場： 京都府国際センター （京都駅ビル9F）

対象： フランスに興味のある方

参加者： 1回目：35名、2回目：32名

主催： （公財）京都府国際センター

アンケート結果：

- * 私はボルドーについてはほとんど知らなかったが今回の講演で大いに興味を感じ、行きたくなりました。
- * ボルドー出身の方から直にボルドーの話を聞いたのは初めてだったのでとても新鮮で面白く話を聴くことができました。
- * 2回通して聴講してみるとボルドー＝ワインという今での固定概念が大変大きく広がった気がします。多面的で面白い町です。
- * フランスと言えばパリに関する情報を多い中ボルドーの伝統や文化について詳しく知ることができて大変勉強になりました。
- * 地方の食文化や方言の話が聞けて良かったです。
- * 今まで知らなかったボルドーの街について具体的なイメージができました。大変興味深く聞かせていただきました。世界遺産も多く面白そうな街なのでボルドーの街を是非訪ねてみたいくなりました。

講座の様子：

